

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

本を務める 伊與田 覺（論語普及会学監）

1. 「論語」の学而第一に次の一節があります。「有子曰く、其の人と為りや、考弟にして上を犯すを好む者は鮮なし。上を犯すを好まずして乱を作すを好む者は未だ之有らざるなり。君子は本を務む、本立ちて道生ず。孝弟なる者は、其れ仁を為すの本か」
2. 有子先生が言われた。その人柄が、家に在っては親に孝行を尽くし、兄や姉に従順であるような者で、長上に逆らう者は少ない。長上に好んで逆らわない者で、世の中を乱すことを好むような者はない。何事でもまず本を務むことが大事である。本が立てば、進むべき道は自ずから開けるものだ。したがって孝弟は人徳を成し遂げる本であろうか。
3. 有子が、立派な人物になるためには本を務めることが大事であると説いています。本、すなわち人間の道における一番の根本がしっかりと立つことによって、そこから本当の道というものが生じてくるというのです。では、人間の道における一番の根本は何でしょうか。最も身近なところでいえば、親に孝行を尽くし、年上の人に素直に従うということです。これは孔子の教えを有子が代弁していると受け止めてよいと思います。

(参考:「致知」2016年4月号)

ワンポイント経営アドバイス

米国とは逆にやる

原 丈人（デフタパートナーズグループ会長）

1. 米国は、会社法、税法から、会計基準やコーポレートガバナンスまで、ありとあらゆる仕組みが、短期的投資家にとって都合のよいココシステム（生態系）になっている。だから、会計基準は包括利益でM&Aがしやすくなっているし、経営者も従業員も頻繁に会社を渡り歩くのだ。日本は、この逆をやればいい。
2. まず、四半期決算開示を廃止し、会社法、税法、会計基準、ガバナンスを、すべて中長期的な研究開発を行う企業にとって都合のよい仕組みにすれば、世界中から中長期志向の企業とマネーが集まってくることになるだろう。2015年にトヨタは中長期に保有する株主を優遇する種類株を導入したが、非常に素晴らしい取り組みだ。

(参考:「WEDGE」:2016年3月号)

経営者のための危機管理

ブラック企業を見極める10のポイント

1. 公表されている初任給が高すぎる
2. 社員数の割に募集人員が多い
3. 年間の休みが100日未満など少ない
4. 中途採用の求人広告がよく出ている
5. 面接場所が自社ではない、無駄に豪華
6. 面接で「夢」「成長」「やりがい」を強調
7. 厳選採用、人物重視などといいながらすぐに内定が出る
8. 内定承諾までの時間が短い
9. 内定後、無給や薄給で働かせる
10. 同期の内定辞退が続出

(参考:「日経ビジネス」2016年2月22日号)

古典に学ぶ

論語よみの論語知らず

(解説) 孔子と孟子の著作が、青年の主なる教科書となり、年長者の間にあつてはその論議の最高権威となった。しかしながら、この両聖賢の古典をただ知っているだけでは、何ら高い尊敬は得られなかった。孔子をただ知識として知っているだけの人を、諺は「論語よみの論語知らず」とあざける。典型的な一人のサムライ（西郷隆盛）は、文学に通じた学者を本の香りのする愚か者と呼んだ。

(参考:佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」:教文館)